

第6回代理店業務品質評議会資料
2026年6月17日

資料2-2

業務品質評価運営の状況について －「フォローアップ点検」に関する認知度調査－

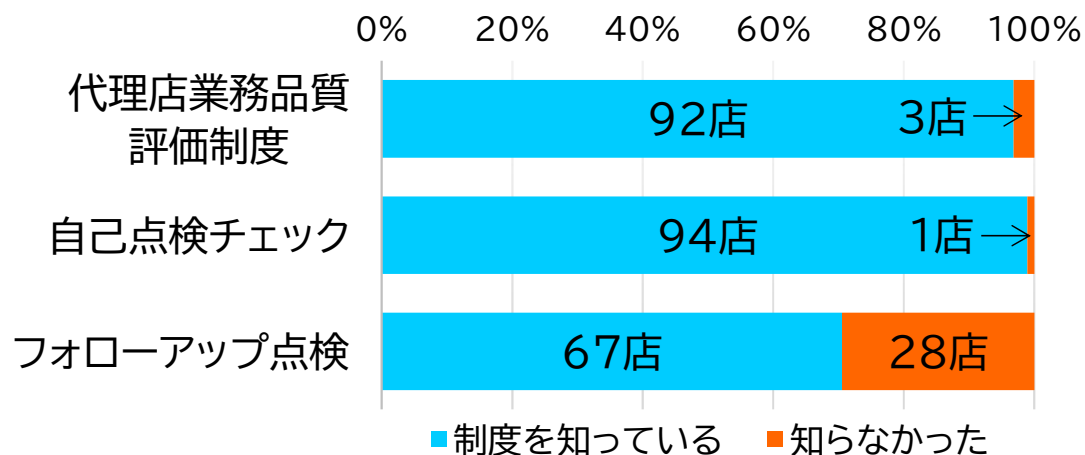
2026年6月17日

1. 認知度調査の概要と結果①

- 一定規模以上の乗合代理店を対象に、「フォローアップ点検」を周知するとともに、「代理店業務品質評価制度」の運営の参考とするため、制度の認知度や代理店における業務品質向上に向けた取組みについて、アンケート調査を実施した。
- 調査対象(287店)のうち95店からアンケートの回答があった。(回答率33.1%)

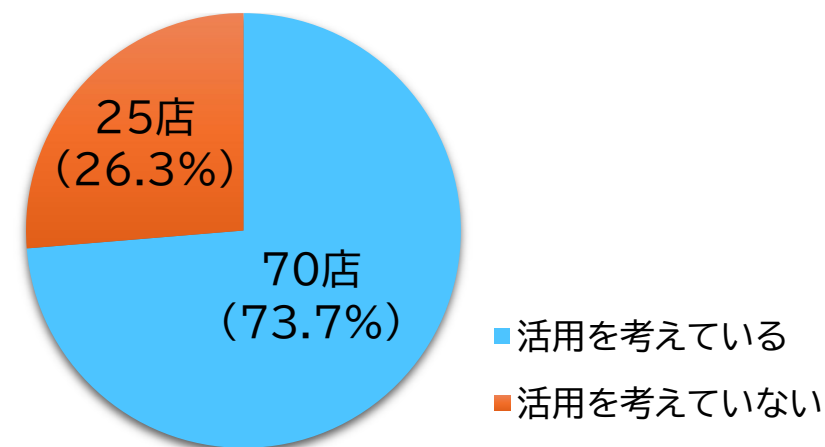
(1) 制度の認知度

- 評価制度および自己点検チェックの取組みに関する認知度は高かった。
- フォローアップ点検については、今回の取組みにより、一定の周知が図られたと考えられる。



(2) フォローアップ点検の活用意向

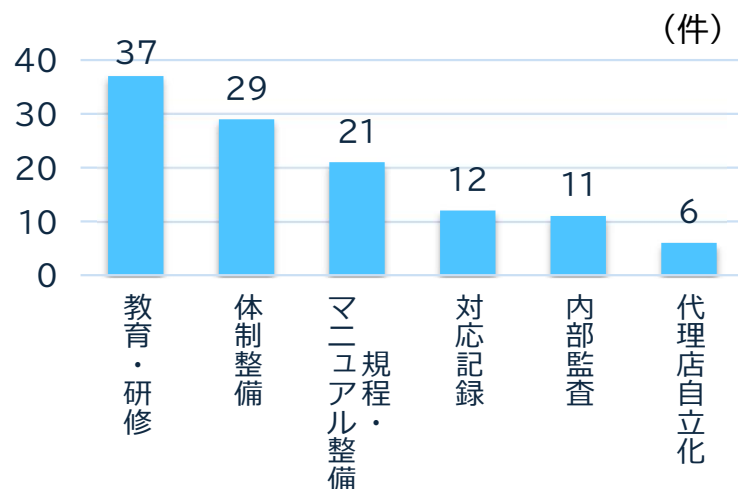
- 自社の業務品質向上に向けたフォローアップ点検の活用意向は73.7%に留まっている。



(3) 記述式回答の内容分析

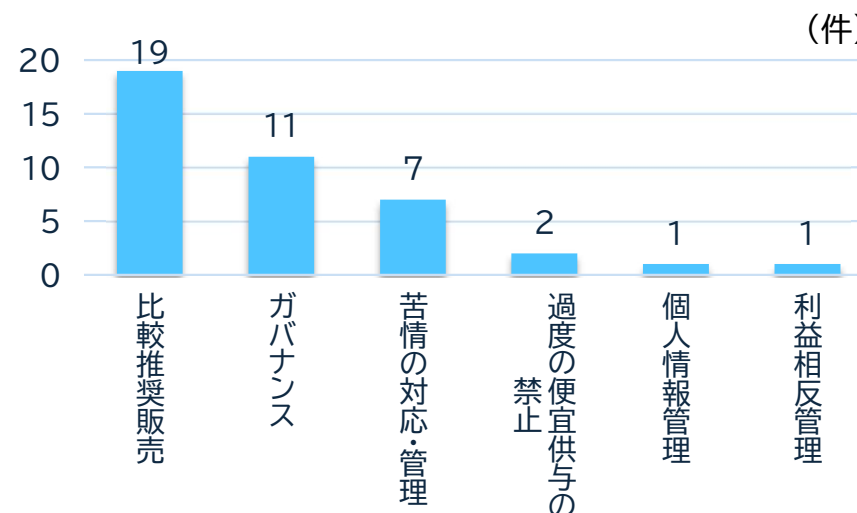
① 業務品質向上に向けた取り組み

業務品質向上に向けて、教育・研修、体制整備、規程・マニュアル整備などに取り組んでいる様子が窺えた。



② 代理店の関心事項

2026年度のフォローアップ点検項目に照らして代理店の関心事項を整理すると、比較推奨販売やガバナンスへの関心度が高い。



③ その他(寄せられた代理店の声)

- ✓ フォローアップ点検以外にも、内部監査や損保会社による代理店点検等があり、代理店の負担が増している。
- ✓ トライアル運用において損保会社から十分なフィードバックがなく、損保会社社員の制度理解が進んでいないと感じる。

2. 今後の取組み方向性

	取組み内容	概要
1	「制度活用の考え方」の整理	<ul style="list-style-type: none">金融庁の監督指針改正を踏まえ、損保代理店および損保会社が制度を活用する際の考え方を整理する。
2	損保会社社員向け周知ツールの作成	<ul style="list-style-type: none">損保会社社員向けに制度の共通理解を促す周知ツールを作成する。共通の周知ツールの利用を通じて、標準化・効率化を推進する。
3	監督当局との連携強化	<ul style="list-style-type: none">情報連携を通じて、当局による監督と一定整合的な制度運営に努め、代理店や損保会社の負担を軽減させる。
4	メリハリを意識したフォローアップ点検手法の検討	<ul style="list-style-type: none">損保会社による代理店指導等を補完する仕組みとして、また、代理店の負担軽減の観点も踏まえ、関心や期待の高い事項にフォーカスした新たな点検手法を検討する。
5	フォローアップ点検に関するFAQの作成	<ul style="list-style-type: none">アンケート調査で寄せられた照会等のうち、共通して回答可能な事項に関しては他の代理店や損保会社においても参考にできるよう、協会ホームページにFAQ(よくある質問)を公開する。